



2012年7月 記載要領変更に伴う改訂

**第2類  
医薬品**

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。

鼻炎用内服薬

# ストナリニ<sup>®</sup> サット小児用

- 水なしでのめ、口の中でサッと溶けますので、錠剤の苦手なお子様にもおすすめです。
- 抗ヒスタミン剤の中でも比較的眠気の少ない成分を配合しています。
- 5才のお子様から服用できるイチゴ味のチュアブル錠です。

### ⚠ 使用上の注意

#### ⊗ してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)
1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください  
他の鼻炎用内服薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)、胃腸鎮痛鎮痙薬
  2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください  
(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。)
  3. 長期連用しないでください

#### ■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
  - (1) 医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 高齢者。
  - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (5) 次の症状のある人。  
高熱、排尿困難
  - (6) 次の診断を受けた人。  
緑内障、糖尿病、甲状腺機能障害、心臓病、高血圧
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	頭痛
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。



3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

口のかわき、眠気、便秘、目のかすみ

4. 5～6日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

※本剤は小児用ですが、鼻炎用内服薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。

### 〔効 能〕

急性鼻炎、アレルギー性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：くしゃみ、鼻みず（鼻汁過多）、鼻づまり、なみだ目、のどの痛み、頭重（頭が重い）

### 〔用法・用量〕

下記の1回服用量を、かむか、口中で溶かして服用します。

服用間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1回服用量	1日服用回数
11～14才	3錠	3回
7～10才	2錠	
5～6才	1錠	
5才未満	服用しないでください	

### 〔用法・用量に関連する注意〕

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 取り出した錠剤は早めにお飲みください。
- (4) 本剤は、水で飲んでも差し支えありません。

### 〔成分・分量と働き〕 9錠中

成 分	分 量	働 き
d-クロルフェニラミン マレイン酸塩	4mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりなどのアレルギー症状を抑えます。
フェニレフリン塩酸塩	15mg	鼻粘膜のうっ血（血がとどこおること）やはれを抑え、鼻づまりを緩和します。
ベラドンナ総アルカロイド	0.4mg	副交感神経に働いて鼻みず、なみだ目を抑えます。

添加物として、エリスリトール、D-マンニトール、ヒドロキシプロピルセルロース、三二酸化鉄、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、サッカリンNa、サッカリン、香料（グリセリン、プロピレングリコール、デンプン部分加水分解物、エチルバニリン、バニリン、エタノールを含む）、その他1成分を含有します。

### ◎保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。  
（誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。）
- (4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。
- (5) 錠剤を湿気の多い所に放置した場合やわらかくなるがありますが、効果に変わりはありません。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先  
 (独)医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
 電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めの  
 お店又は下記にお願い申し上げます。  
**佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口**  
 電話 03(5412)7393  
 受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元  
**佐藤製薬株式会社**  
 東京都港区元赤坂1丁目5番27号